

平成 27 年度監査報告書

平成 28 年 6 月 10 日

公益社団法人埼玉県診療放射線技師会
会 長 田 中 宏 殿

公益社団法人埼玉県診療放射線技師会

監 事

橋本 望見



監 事

鈴木 正人



私たち監事は、公益社団法人埼玉県診療放射線技師会定款 22 条に基づき、平成 28 年 5 月 24 日 18 時 30 分から本会事務所において、会長、副会長、総務及び財務担当常務理事の立ち会いの下で、本会の平成 27 年度事業執行並びに財産状況について監査を実施しました。

本監査報告書を作成し、次のとおり報告いたします。

1、監査方法の概要

- (1) 会計監査について、帳簿並びに関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続きを用いて、財務諸表並びに収支計算書の正確性を検討しました。
- (2) 業務監査について、理事会及びその他の会議に出席し、理事からの事業報告を聴取し、関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続きを用いて、事業執行の妥当性を検討しました。

2、監査の結果

- (1) 会計帳簿は、決算の状況を正しく示しており、指摘すべき事項は認められません。事業報告書は、昨年度の本会事業・運営の状況を正しく示しているものと認めます。
- (2) 理事の会務執行に関し不正の行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事項は認められません。
- (3) その他、特に指摘する事項は認められません。

3、意見

平成 27 年度は、平成 28 年 5 月 14、15 日大宮ソニックシティで開催される関東甲信越学術大会の準備を行う年度となりました。理事を中心に実行委員は演題募集、学術機材確認及びプログラム構成等 5 月 14 日の開催初日まできめ細かな準備を行った結果、一般演題 108 題、参加者 793 名と大成功を収めるに至りました。実行委員と参加された会員の皆様には感謝申し上げます。大変お疲れ様でした。

平成 8 年に取得した本会の事務所も 20 年近くたちやや規模の大きな修繕を行いました。会員から出資金を募って取得した大事な財産であり、現在の広さで機能が保っているのであれば、今後も修繕を重ね可能な限り長く使っていただきたい。

以上、平成 27 年度の活動について 2 点意見を述べさせていただきました。また、誌面の都合で掲げなかった事業につきましても適切に遂行されたことを確認しております。

以上